

東静岡地区における『文化力の拠点』の形成

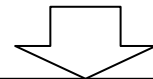
1 東静岡周辺地区が持つ場の力

●東西軸、南北軸の「交流拠点」

- ・古代東海道遺跡（古からの東西の交流軸）
- ・活発な東西交流（新東名、東名、JR東海道本線）
- ・中部横断自動車道をにらんだ山梨、日本海に至る新たな交流

●日本平に広がる「学術、文化・芸術、スポーツ」施設の集積エリア

- ・静岡県立大学や静岡大学など数多くの高等教育機関
- ・グランシップ、県立美術館、県立中央図書館、舞台芸術公園、草薙総合運動場
- ・地球環境史ミュージアム、久能山東照宮
- ・世界文化遺産富士山のビューポイント名勝日本平の玄関口



県有地 2.4ha を活用して“ふじのくに”の「文化力の拠点」を整備

2 「文化力の拠点」のコンセプト（イメージ）

創造・発信

- 魅力ある文化の創造（お茶、和の食、花、富士山、危機管理、コンテンツなど）
- 国内外への文化の発信
- 地域の伝統・生活文化の継承
（芸術文化、伝統芸能、衣食住にまつわる生活文化、景観）

学ぶ(人づくり)

- 文化を担う人材の育成
- “ふじのくに”ならではの学びの提供（生涯にわたり学ぶ、学習機会の提供）

出会い・交わる

- 地域外交による国際化の推進
- 多彩な文化活動と交流の拡大
（文化芸術スポーツ間連携、産官学公民間連携、大学間連携）
- 魅力ある空間（文化、芸術の香る空間、学生をはじめ若者が集い賑わう空間）

3 東静岡周辺地区のゾーニングイメージ

